

2021年6月21日

## 「東京湾 UMI プロジェクト」 アマモ場再生活動(花枝採取)実施しました

マルハニチロ株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:池見 賢)は、2021年5月29日(土)木更津金田漁港(千葉県木更津市中島)においてアマモ場再生活動(花枝採取)実施しました。



### 【実施概要】

【日時】 2021年5月29日(土)

【場所】 木更津金田漁港(千葉県木更津市中島)

【指導】 NPO 法人 海辺つくり研究会

【参加者】 マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ 4 名

NPO 法人 海辺つくり研究会のスタッフ及び国土交通省関東地方整備局から 8 名 延べ 12 名

マルハニチログループは、東京湾の水質を改善し海の生き物の棲家となって沿岸の環境を整えるアマモ場の再生活動に協力しており、2016年からは東京湾の環境改善に取り組む国土交通省の「東京湾 UMI プロジェクト(東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト)」協力企業にも選定されています。

2015年からグループ内イベントとして実施しているアマモの花枝採取は、近年では100名を超える参加者が集うイベントになりました。2021年も新型コロナウイルスの影響によりイベントとしての開催は中止としましたが、マルハニチログループの継続的な環境活動として、少数名にて十分に感染対策を行った上で実施しました。

当日は所要2時間で約2,800本の花枝を採取しました。花枝1本に約20個の種子がつくとされていますので約5万6千個の種子を採取したことになります。これらの種子は1～2ヶ月ほど海中で成熟させて今夏に選別を行い、秋に東京湾に播かれます。



アマモの花枝に付いた種子



採取した種子は海中で成熟させます



東京湾の金田漁港沖に広がるアマモ場



アマモ場に棲むヒメイカとワレカラ

アマモは内湾の浅場に生育し、小魚の棲み処となって水質浄化し CO<sub>2</sub> を吸収する海草です。森林が吸収・固定する CO<sub>2</sub> を「グリーンカーボン」と呼ぶのに対し、アマモなど海藻・海草の藻場が吸収・固定する CO<sub>2</sub> を「ブルーカーボン」と呼びます。2020 年 10 月に日本政府が発表した「2050 年カーボンニュートラル宣言」に向けて策定された「グリーン成長戦略」では、ブルーカーボンを対象としたカーボン・オフセット( )制度の検討を盛り込んでおり、脱炭素社会への方策としても注目されています。

マルハニチログループは今後も積極的に持続可能な海洋環境を創造していくための活動に取り組んでまいります。

( )カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

【本件に関する問い合わせ先】

マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ

TEL : 03-6833-1195